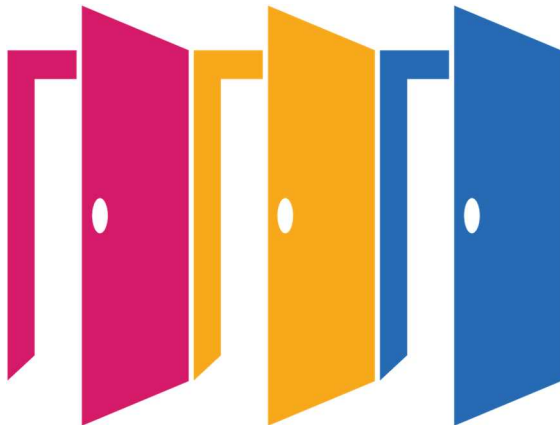


第 2790 地区

印西ロータリークラブ 週 報

第 2547 号



ロータリーは機会の扉を開く

創 立 昭和 42 年 3 月 11 日
承 認 昭和 42 年 4 月 26 日
例 会 日 第 1.2.3 水曜日 12:30 ~ 13:30
第 5 水曜日 18:30 ~ 19:30
会 場 柏 屋 0476(42)2043
事 務 所 〒270-1327
千葉県印西市大森 4450-47
TEL 080-1192-0281
FAX 0476(42)3101
会 長 堀 江 恭 一
幹 事 稲 葉 健
クラブ会報リーダー 星 野 宏 明
HP  <https://inzairc.com/>
FB  <https://facebook.com>

第 2587 回 例会 2020 年 11 月 18 日(水)
於：中央公民館 点鐘：13:00

2020-2021 年度 印西ロータリークラブ
漆原 節子ガバナー 公式訪問



1. 懇談会 11:00-12:00 講義室
ガバナー、地区副幹事長、ガバナー補佐、
会長、幹事、会長エレクト



2. 例会

開会宣言

点鐘

ソング 奉仕の理想

お客様紹介

SAA 玉木 実
会長 堀江 恭一

管理運営委員長 鈴木 治美



伝達式 地区 RYLA 委員

稲葉 健



お祝い MPPHF

ニコニコ

「マルチプルポールハリスフェローをいただきました。」

橋本 和治

橋本 和治



会長挨拶

会長 堀江 恭一

皆さんこんにちは。ガバナーの漆原摂子様、地区副幹事長の中村満様、ようこそ印西までお越しいただきました。ありがとうございます。漆原様にはこの後卓話を頂き、さらにクラブ協議会とよろしくお願い致します。また、橋本ガバナー補佐様には第 10 グループのガバナー公式訪問は今日で最後かもしれませんが、これからもまだまだお世話になることいっぱいありますのでよろしくお願い致します。

漆原様と初めて直接お会いしたのは第 1 回 PETS の時です。会場の入り口から少し入ったところで皆さまをお迎えしている漆原様がいらっしゃって、「よろしくお願い致します」とにこにこご挨拶されている姿に新鮮なさわやかな気分になったのを覚えています。これは決してお世辞ではありません。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の状態の中で始まり、各クラブと共に地区でもその対応に追われたことと思います。加えて次年度に向けてグループ再編という大役を果たす上での問題に心労お察しいたします。

さて、印西ロータリークラブは現在会員数 12 名ですが、2 名が公務のため、1 名入院中、1 名弁護士で裁判中、1 名奥様の手術ということで、本日の出席者は橋本ガバナー補佐を含めて 7 名となりました。当クラブにとって一番の問題は会員減少です。もちろん鋭意会員増強に努めております。先日玉木会員と共にある方にロータリークラブの説明をし、その方を含めてそれぞれの思いを語り合っ入会申込書を渡してきました。結果は未定ですが期待しています。玉木会員からは会員候補の訪問先リストが上がっています。皆さん行動しましょう。よろしくお願い致します。



◇幹事報告

幹事 稲葉 健

※個別以外は HP の連絡事項に書類をアップしているのでご確認ください。

配 布	・週報 ・G 事務所	・11 月 1 日(水) ・G 公式訪問配布用資料
回覧	・竜ヶ崎 RC ・市民活動支援センター ・公益財団法人米山記念奨学会 ・島手そうめん販売株式会社	・60 周年記念誌 ・メルマガ第 52 号 ・ハイライト米山 248 ・DM そうめん販売のご案内
郵便 FAX メール 等	・G 事務所	・青少年奉仕・青少年育成セミナーのご案内 →対象会員全員、HP ・地区グループ編成の件 →ガバナー補佐、会長、幹事、HP ・第 2 回クラブ・地区支援メッセージ →会長、幹事、HP ・PHF certificate (ポールハリスフェロー サティフィケート) →橋本ガバナー補佐
報告	船橋 RC のペンクラブ	・冊子をいただきましたので、回覧いたします。



委員会報告 出席奨励

	総数	出席	欠席	M/U	出席率
11 月 18 日	12	7	7(免 2)	5	100%

卓話

2020-2021 年度 第 2790 地区

ガバナー 漆原 摂子 様

皆様こんにちは。本年度ガバナーを仰せつかっております、勝浦 RC 所属の漆原摂子と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。本日はコロナ禍が収まらない中、ガバナー公式訪問例会を開催していただき、また多くの会員さんのご出席を賜り、心より御礼申し上げます。

さて直近開催の RI 理事会においていくつか強調事項が発表となりましたが、特に、R I 理事会と R 財団管理委員会は、従来の 6 つの重点分野に加え、7 つ目の重点分野「環境の保全」を追加しました。この新しい重点分野は、グローバル補助金によって実施される奉仕プロジェクトの新たな対象となり、あるいはこの分野を専攻し海外の大学院で学ぶ学生への奨学金支給対象となります。この申請は来年度からスタートとなりますが、詳細が分かり次第、またご案内致します。

また皆様ご周知の通り、つい先日 WHO はナイジェリアの野生株ポリオフリー宣言を致しました。そしてこの活動に大きく貢献したとして、アメリカ「タイムズ」誌は、毎年選考する「世界で最も影響力のある 100 人」のひとりに、ナイジェリアのバスターガバナーでありインターナショナルポリオプラス委員会のメンバーである、ツンジ・フンショ氏を選びました。ポリオ根絶の取り組みによりこの栄誉を受けたロータリー会員は、フンショ氏が初めてとなります。

改めてご紹介致します、今年度の R I 会長であるホルガー・クナーク氏、ドイツからは初めての R I 会長です。大変長身で、鼻メガネがユニークです。新年度を迎えるにあたり、最新のビデオメッセージが届いておりますので、こちらをご覧ください。

さて冒頭、クナーク会長は、「日本のロータリアンは職業奉仕と親睦を大事にしている」とコメントされました。なるほど日本の事情によく精通されているなと思います。過去からの礎は職業奉仕、即ち自分自身の仕事や活動を通して社会に貢献すること、これは今も昔も変わらない、ひとつの定義と思います。そしてロータリーが今一つ大切にしている親睦をベースに、ビジネス倫理や社会奉仕に対する価値観を共有できるような、若い会員を引き入れ、活動することは、未来への基盤となると仰っていると理解します。コロナ禍の中ではあり、困難を伴うが、これは同時に機会の扉を開くもの、今こそ R 再生のとき、変革のときであると仰っています。コロナと共生し「新しい日常（ニューノーマル）」に適応することで、今後また起こりうる厄災に対する備え、未来への備えに繋がるということです。

またクナーク会長は、特にガバナーのクラブ公式訪問の際に次の 4 つを伝えるようにと強調されました。これは今年 1 月にアメリカのカリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式研修である「国際協議会」に出席した際に、発表されたものです。その時はコロナがこのようなパンデミックになるとは誰も思いませんでしたので、内容に少し隔たりを感じるかもしれませんが、R I 会長の指示でございますので、ひとつひとつを見てみましょう。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作りましょう。

ロータリークラブというのは、決して敷居の高い、お金持ちだけが集まるようなクラブではないと信じています。特にここ数年はローターアクトクラブの拡充が言われています。ロータリーの正会員に入るのは年齢的にも仕事の上でも会費納入の面でもまだ余裕のない 30 代、あるいは 40 代前半をターゲットとしたローターアクトクラブの設立は、地域の活性化に繋がるかもしれません。このような若い年代を基盤としたクラブはまた、地域社会において、周囲により大きなインパクトをもたらし、賛同して参加したいと思う人が増える、すなわち参加者の基盤が広がるのではないのでしょうか。この 2 つは、昨年 7 月 1 日から向こう 5 年間適用される、RI の新たな戦略計画、4 つの行動計画に含まれております。

2. すべてのクラブは戦略計画を持ちましょう。

これもここ数年言われ続けていることです。現在コロナ禍のために、退会を余儀なくされる会員も微増しております。有効なワクチンが出来るまでは、コロナと共生をせざるを得ません。そのような中だからこそ、各クラブは少なくとも年に 1 回は、自分のクラブの現状を見つめ、5 年後はどうなっているか、クラブの目標を立て、それに向けてどのようなステップを踏むべきか、といった中長期的なスパンでクラブの存続そして活性化を考えて下さい。戦略計画委員会というものがないクラブでも、少なくとも理事会において、クラブの現在そして未来を考えていただきたいと思います。会員お一人一人がクラブの将来を真剣に考える、すなわち参加者のクラブへの積極的なかわりを促すという、R I の 4 つの行動計画の一つですが、これに繋がるのです。

3. 新会員を慎重に選びましょう。

クナーク会長は当初より、会員増強の数字だけにこだわるのではなく、自分のクラブに合った会員を慎重に考え入会してもらい、そして入会したら一生涯ロータリーをやめないで続けていけるような配慮が大切だと仰っていました。まずは既存の会員を大切にすることです。ロータリーは毎年、入会した人数とほぼ同数が、自然減も含め、退会している状況です。しかも現在はコロナ禍のため、会員のクラブ離れは平時より増えております。まずは今の大切な仲間を失うことのないようお願いする次第です。

4. 10 月の世界ポリオデーに合わせたイベントを。

冒頭に申し上げましたが、ナイジェリアは、野生株ポリオフリーとなり、現在ポリオ常在国はパキスタンとアフガニスタンの 2 国ですが、コロナ禍のためにワクチン接種が従来通りに実施出来ず、発症者も微増しています。一方、ロータリーが今までポリオ根絶のために築いてきた大規模なインフラを、現在は各国の医療機関に、コロナ感染拡大の防止に利用してもらっています。つまりポリオ根絶のためのノウハウが、現在最もパンデミックで脅威となっているコロナ禍を食い止めるべく、役立っているのです。R I の 4 つの行動計画の、適応力を高めて対応した結果、周囲により大きなインパクトを与えている状況です。世界ポリオデーは毎年 10 月 24 日で、今年はコロナ禍を勘案し、バーチャルなイベントや三密を避けたイベントなど、国内の 3 つの事例をご紹介します。

東京三鷹 RC の事例です。オンラインでチャリティコンサートを開催、YouTube で広く一般向けに配信し、演奏の合間にポリオ根絶へのご理解や寄付を促していらっしゃいました。

また山梨県甲府市の甲斐ロータリークラブは、従前は街頭で募金活動を実施していましたが、コロナ禍のため断念、代わりにこのようなエコバッグを作成し販売して、利益はポリオプラス基金へ寄贈するという活動を実施しました。

こちらは第 2640 地区（大阪南部と和歌山県）が実施した、ポリオ根絶及び新型コロナ収束祈願法会です。高野山の壇上伽藍金堂で開催されました。密を避けるため、金堂内には理事役員 50 名が祈りを捧げ、外ではインターアクターとローターアクターがポリオ根絶のチラシ付きマスクの配布や募金活動をされたそうです。こちらの女性は同期のガバナーの藤井秀香さんです。TV ニュースでも取り上げられ、新聞社からも取材があったとの事です。こういった事が、次年度に向けてのアイデアのひとつとなればと思います。

それでは今年度地区活動方針についてご説明致します。今年 4/29 に YouTube で配信しました、地区研修協議会でもお話致しましたが、今年は日本に最初のロータリークラブ、東京ロータリークラブが設立されてから 100 周年を迎えます。この節目の年に、原点であるロータリーの目的、すなわち「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むこと」に戻り、クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！というスローガンをやりたいと思います。

奉仕の理念、The Ideal of Service、つまりサーヴィスという考え方、そしてこれをやさしく説明したのが、R I 事務総長を 32 年間務めたチェスリー・ペリーです。すなわち、「他人を思いやり、他人のためになることをしよう」という考え方です。そしてこれを実践することは、先程から話に出ております、R I の 4 つの行動計画のローテーションのスタートなのです。

他人のためになることをする、The Ideal of Service の実践は、周囲により大きなインパクトを与えます。その活動を目にした人々の R への公共イメージ向上の結果、賛同し仲間に入りたいと希望する参加者の基盤が広がります。多様な参加者のアイデアに丁寧に耳を傾け取り入れることで、その参加者はやりがいを感じ、ロータリアンとして、更に積極的にかかわってくれるでしょう。そしてクラブ内では親睦を育むと共に、研修を通してクラブの現状やロータリーの過去・現在を学び、将来に備えて、多様なアイデアをもって柔軟に対応出来るよう、適応力を高め、そして次の The Ideal of Service の実践に取り組むことです。依然コロナ禍により通常のような行動がとりづらい状況ですが、このような時だからこそ、クラブが戦略計画を立て、この 4 つを展開していただくことで、数多くの機会の扉を次々と開いていくことが可能となり、結果クラブは質・規模ともに向上拡大するのだと考えます。

クラブの会長さんには、リーダーシップを発揮していただき、戦略計画を立案し、この 4 つの行動計画を展開することをお願い申し上げます。またクラブの各委員長の皆様は、この図の中で、それぞれどの地点で、クラブ向上拡大のためのサポートが出来るかをお考えいただけますようお願い申し上げます。そしてクラブ R 財団委員会・米山記念奨学会委員会の委員長の皆様におかれましては、他人のためになることをするための寄付推進、ならびに「地域で世界でよいことをするための」人材育成にご尽力をいただければと思っております。

さてこれまで、ロータリーは今こそ改革の時であるというクナーク会長のメッセージや、適応力を高めることの大切さ、未来への基盤となる多様な若い人たちを受け入れましょうと

申し上げて参りました。一方 RI は、ロータリーの基本理念は不変であると言い続けています。規定審議会でのいくつかの変更事項は、ロータリーの本質からの逸脱を認めるものではありません。つまり、ロータリアンは事業や専門職及び地域社会のリーダーであることに変わりはありません。ロータリーの基本的信条である「ロータリーの目的」に変更はありません。ロータリーの最も大きな特徴のひとつである「4つのテスト」及び5大奉仕部門に変更はありません。ロータリーの5つの中核的価値観、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップにも変更はありません。

また、国際ロータリーを成り立たせている各クラブは、標準ロータリークラブ定款に違背しない限り、そのクラブの伝統や個性や地域性を鑑み、クラブ独自の細則を作ることができます。会員の皆様があらゆる意味でロータリーを楽しみ、クラブがより生き生きとするために、戦略計画（中長期的計画）をもって、世界でただ1つのクラブ細則を作ることが大切だと考えます。

さて、私たちロータリアンが目指すビジョン声明があります。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能なよい変化を生むために、人びとが手を取りあって行動する世界を目指します。」これがロータリーのビジョン声明です。そして先程申しました、ロータリーが大切に守り続けている不変のものがあります。それは4つのテストであり、ロータリーの目的であり、ロータリーの中核的価値観などです。これを基盤に、これも先程お話ししました4つの行動計画、より大きなインパクトをもたらす・参加者の基盤を広げる・参加者の積極的なかわりを促す・適応力を高める、この4つを実践することで、ロータリーのビジョン声明の実現につながるものと信じております。

ロータリーは人づくりとよく言われます。「他人を思いやり、他人のためになることをする」という考えの前に、まず、「自分を思いやり、自分のためになることをする」と置き換えてみましょう。そしてこれは決して利己的な考えではなく、まずは「自分を大切にし、自分が周囲に役立つ人間になる」と捉えてはどうでしょうか。主役であるクラブを成り立たせているのは会員お一人お一人です。会員個人が、その家庭や事業、活動で有用な存在となり、Rの5大奉仕部門においては仲間と親睦を深めながらその実践に役立つような人間を目指すこと、ロータリークラブだからこそ、このような人づくりが出来るのです。私自身としては、ロータリーって何？と問われたときに、「私自身です」と答えられるような、そんな人間を目指しています。

最後に、来年の国際大会についてご紹介いたします。来年は台北にて国際大会が、2021年6月12日-6月16日まで開催されます。プロモーションビデオがございますのでまずはご覧下さい。

また地区内クラブ会員の親睦を深める晩餐会・千葉ナイトも企画しております。6月13日の夜、5つ星ホテルのロイヤルタイペイ・ニッコーで開催予定でございます。これらの情報は地区ホームページからも閲覧できます。来年の国際大会で、再び皆様と台北の地にてお目にかかれまことを祈念致しております。ご清聴ありがとうございました。

点鐘 印西 RC 会長 堀江 恭一



3. クラブ協議会

- 1) 開会のことば
- 2) ガバナー補佐挨拶

幹事 稲葉 健

第10 グループガバナー補佐
橋本 和治 様

皆様、改めまして今日は。

ガバナー補佐の挨拶をと言われましたが、所属クラブですので、何か妙な感じがします。この後、クラブ協議会を行なって頂きますので、忌憚の無い意見交換ができればと思います。どうぞよろしくお願いします。



3) 委員会活動計画発表

- A クラブ戦略計画について趣旨発表
戦略計画について会員によるディスカッション

会長 堀江 恭一

当クラブはCLPを採用した12年前から長期計画委員会を設置し、長期計画を立てています。数年前から戦略計画という名称が使われるようになりましたが、何となく戦略という言葉になじめず長期計画という名称をずっと使っています。

長期計画はほぼ5年先を見越して立てるものなので毎年少しずつ見直ししながら変更を加えていき、連続性を維持するものです。



- ① 創立55周年までに会員数を25名にする。

若干の下方修正を余儀なくされているところです。

- ② 地域住民にロータリーの活動について周知していく。

ロータリーの周知は地区でもさらに広報活動をお願いします。

- ③ 子クラブの白井ロータリークラブと交流を深め、共にこの地区を活発にする。

先方も是非という回答を得ています。

- ④ 交換学生派遣を推進する。

- ⑤ 休止中の印西ローターアクトクラブの再興を検討する。またインターアクトクラブの発足を検討する。

会員数が増えた時に検討したいと考えています。

- ⑥ ウォークラリー大会を地域のイベントとして定着させ、広報活動を活発化させる。更に、次の奉仕プロジェクトを考える。

⑦ 米山奨学生を受け入れに向けて努力する。

市内の順天堂大学と東京基督教大学が候補としてあります。

⑧ 創立 55 周年に向けて、国道 464 号線沿いにロータリークラブの看板設置を検討する。

⑨ 子ども食堂の立ち上げの支援について検討する。

ウォークラリー大会に続く社会奉仕活動として考慮したいと考えています。

B クラブの利点欠点について

クラブの良いところ改善すべき点を会員より自由に発言

C 自分のロータリーモーメントについて

「私のロータリーモーメント」

鈴木 治美 会員

私は、約 6 年前に橋本ガバナー補佐の紹介で、入会したロータリアンとしては、まだまだわからない事だらけの駆け出しです。

私は、主人の旅行会社をやりたいという一言から、猛勉強して総合旅行業務取扱主任者という資格を取り、夫婦で会社を立ち上げました。2 年前にその主人を亡くしてから少しずつ業務を縮小し、昨年会社を閉鎖。今は、同時に取得した国内旅程管理者資格で、ツアーコンダクターとして添乗業務を行っております。

私個人としては、新型コロナウイルス感染拡大のため 8 カ月もの間、全く仕事が無い事で、会長や会計の仲田会員をはじめ、全会員の温かい支えをいただき、心から感謝しています。今は、去年の倍の仕事のアサインをいただき、充実した毎日を過ごしています。

以前は、何となく言われるままにロータリー活動を行ってきましたが、私にとってのロータリーモーメントは、昨年度の幹事になった時だと思います。

幹事の責務がどの様なものなのか、自分の中でピンとこない状態で幹事として活動が始まりました。幹事は会長の補佐ということで少しのんびり考えていたところ、そんな甘いものではなかったことがわかり、諸先輩方にその都度教えていただきながらの 1 年となりました。

全てのクラブも同様かと思いますが、新型コロナウイルスの感染拡大により、実例会を開くことが出来ない中、それでも決めなければならない事、進めなければならない事柄などがあり、現会長のアドバイスで Z o o m 例会を開催することになり、会員の方々から様々なご協力をいただきながら何とか幹事職を終えることができました。



OLとして、勤めていた時に約20人の女子社員やパートさんをまとめる立場についていたことがありますが、ロータリークラブでは、人生経験、ロータリー歴、年齢など自分よりもずっと上の方たちの中でのこの責務は、やはり緊張感がありました。

次年度はとうとう会長ということで、さらなる緊張感と責務の重さを感じる1年になるかと思います。様々な活動を行うには少ない会員数ではありますが、少しずつでも増やしていきながら活動できるように、全会員に助けをいただきながら頭フル回転で責務を果たしていきたいと思っています。

「ロータリーモーメント（私の夢）」

玉木 実 会員

まだロータリアンになって歴史の浅い私ですが、印西ロータリークラブに入会して何とか実現したい夢があります。

2011年3月11日東日本大震災は、大変甚大な被害を我が日本にもたらし、いまだ仮設住宅住まいの人々もいます。福島県双葉村では帰宅不可能地区も存在しています。しかし当地印西市では震度6弱にもかかわらず、大した被害にも合わずに計画停電にも合わない幸運に恵まれていました。調べますと北総台地は活断層も無くて、頑丈な地盤に守られているとの実情が判りました。

郵政省情報ビルの大した被害もないことが判明したら、日本有数の情報管理センターが続々建ち始めました。銀行：証券：NTT ソリューション；保険会社等様々な管理センターの集積場所となりました。過去7年間「住みよさランキング日本一」に選ばれた印西市には大きな風が吹いてきました。

過去3年間幼保一体保育園が、なんと12か所も出来ました！まだまだコロナ下にもかかわらず、建設ブームが続いています。

印西市内には174か所の都市公園がありますが、幼児の水遊び場がありません。

以前使っていた跡地でも、維持費の高騰から元栓を止めてしまった公園もあります。そこで循環式の公園ではなくて井戸水使用の遊び場にすれば経済的にも安上がりとなります。幸いにロータリークラブでは、カンボジャやラオスとかアフリカ諸国に井戸水を掘っているノウハウも存在しています。計画をもって毎年1か所ずつ井戸水を掘り、幼児の遊び場を作れば若いお母さんのコミュニケーションの場所にも影響します。地球温暖化が進んで11月の半ばになっても25°Cの気候になっています。計画としては5月～9月までの日中に井戸水をチョロチョロチョロ流す水遊び場を作れば、幼児たちの遊び場確保にもつながります。若いお母さんたちの交流の場としても利用できます。

何よりも「ロータリークラブ」の持続可能な活動を実践できます。

これが私の夢です。

当然私一人で実践できる内容ではないので、仲間との協力の不可欠となります。是非皆さん、ご協力お願いいたします。



「ロータリーモーメント」

稲葉 健 会員

＜入会のきっかけ＞

議員になり、他の議員さんから声をかけてもらった。
最初は、ロータリーは恐れ多くて一年間入会を拒否していた。



＜入会時の感想＞

既に10数人でしたが、地区での活躍されている方と新しく知り合う事が出来た事。また、今までの歴代のメンバーを見て、そうそうたる方がいた事に改めて認識した。

＜入会してから＞

なるべく（というより必ず）例会に参加するように心がけている。

＜今の感想として＞

年々人が減って行く事に寂しさを感じるとともに何とかしなければと思っています。また、今年度橋本ガバナー補佐と他のロータリーにお邪魔して他のグループの事を知る事ができ、とても新しい感触を得ています



D ガバナー講評

みなさん、長時間にわたりありがとうございました。

講評と申しますには、先輩方がたくさんいらっしゃいますので感想ということで、少し申し述べさせていただきます。

まず、会長幹事から先程の懇談会でいただいております活動計画書を中心に話を色々伺いました。今、会長のお話もございましたように、こちらのクラブには10年前から長期計画が可決されていきました。実は、恥ずかしながら私のクラブは長期委員会がありませんでした。昨年、慌てて長期計画委員会を検討し、今年正式に発足いたしました。何とか、年度中に中長期ビジョンを可決する方向でございます。こちらは本当に先見の明がございまして、素晴らしいと思いました。

会長がおっしゃいました「戦略」。この言葉は公式訪問を色々回っており、そのような方がいらっしゃいます。「戦略なんて、ロータリーは戦争でも始めるのか」と言われてしまいます。すみません、こちらRIのstrategicプランの公式訳なので「戦略」と呼ばせていただいておりますが、中長期的目的でも結構です。

仰せの通り、ロータリーのPRがまったくなされておられません。さきほども懇談会で出ましたポリオの話ですが、夏に民放でナイジェリアからポリオが無くなったという放送がされました。JICAなどが協力したという言葉はありましたが、ロータリーの「ロ」の字も出ずに、私もがっかりした1人でございます。

このあたりは、昔のロータリーの「隠匿の美」の残りかなと思っていますが、RIも最近はPR活動に力を入れている形でございますので、日本のロータリアン、RIにも頑張ってもらっていて、私たちも頑張りたいと思います。

それから、米山について。こちらは順天堂大と基督教大が認定校になっておりますが、大学によって温度差があります。教授がうまく伝え、ポスターなどを貼っていただければ、みなさん来ていただけたと思います。そこは橋本補佐、お願いいたします。

先程お伺いしようと思い、申し忘れました。この活動計画書の31ページにガバナー補佐が延長で書かれているCLPが書かれています。勝浦ロータリークラブで戦略計画を立ち上げるにあたり、この31ページの橋本ガバナー補佐が書かれている「会員満足度テスト」、これはMy RotaryからDLできます。

うちも10月に実施いたしました。こういったことで、会員さんが現クラブに対する意見などを吸い上げて、それが中長期計画の種になると思いますので、強く推奨するところでございます。

クラブの利点、欠点について。玉木会員より新鮮なご意見を拝聴できました。ご自身の経験を語ることが会員の誘致につながるのではないかとすることは、このままロータリーモーメントに移らせていただきますが、まさにその通りです。今回、「私のロータリーモーメント」をクラブ協議会のテーマの1つに入れてくださいと、今までなかったことですがお願いいたしました。これは、私が一番楽しみにしていたことでございます。と、申しますのはガバナーの公式訪問時、会長幹事の懇談会で活動方針を伺うのもその通りなのですが、RIのほうから、「ガバナーがクラブに赴いたら、なるべく多くの会員さんと混じりなさい」と指導がございまして。

しかし、このご時世ですから懇親会もございませぬ。それではご自身がロータリ

ークラブに入られて感じたこと、感動したことをお聞きしたいなとお願いしました。これは玉木さんがおっしゃったことと繋がるのですが、新会員候補から「ロータリーってなに？」と問われたときに「1905年に出来てポールハリスが～」と語るのもいいのですが、自分が入ったクラブのロータリーで感動したことを自分の言葉で語ることは、一番の勧誘の殺し文句になると私も信じています。

鈴木会員がロータリーに入らなければ出来なかった目上の方をまとめること。まさに私もその通りです。私もガバナーになるとは思っておりませんでしたし、多くの方がベテラン会員や目上の方でございます。このような経験は、ロータリーに入らなければ出来なかったなと思います。

玉木会員におかれましては、まさにご自分がロータリーにお入りになってやりたい「井戸水で子供が水遊びをできようになる」と明確に熱く語ってくださいました。

稲葉会員におかれましては、皆さんと一緒に楽しく活動できるクラブ。それが、そのまま新しい会員を引き入れる材料につながることを願ってらっしゃると。まさに、その通りだと思います。

おしゃってくださったことを新会員候補に出会ったときに、そのままお伝え出来れば、「私も入ってみようかな」と思ってくださいるに違いありません。

最後にもう1つだけ。私のロータリーモーメント。こちらにはいないと思いま

すが、「このところロータリーに入ってもつまらないな。」と思ったときに、他人の方のロータリーモーメントを聞き、シェアさせていただくことで「僕も私も頑張ってみようかな」とモチベーションを高めることにもつながると思います。これはとても大切なことだと思っています。勝浦という街も人口1万8千人を切ってしまい、過疎化が進み、ロータリークラブも40名おりますが、明日はどうなるかわからない部分もあります。そのような中でも私自身、会員増強には手を抜かないように進んでいくつもりです。「いつ、どこで」新会員候補者にあっても、自分の言葉で語れるようにしていく次第でございます。みなさまにおかれましても、自分の言葉で印西ロータリークラブの良さを語っていただけるように、僭越ながらお願い申し上げて感想とさせていただきます。大変整いませんが、本日はありがとうございました。



4) クラブからの質疑応答

5) 閉会の言葉

稲葉 健 幹事

◆◆◆橋本ガバナー補佐訪問◆◆◆

11月17日(火)

多古ロータリークラブ 夜間例会

